



は が
ほど くらい

文法を楽しく!!

ぶん ぼう たの

授受表現 (2)

前回の「授受表現(1)」では、「(て)あげる」と「(て)くれる」の使い分けについて、応用的な部分を見てきました。今回も応用的な部分をもう少し考えます。

2. 恩恵・利益の授受から感謝・尊敬の表現へ

次の会話の状況を想像してください。

ある日あなたは、友達のエさんに持っているCDを貸してほしいと思ったので、林さんにお願ひしました。そして、そのことを他の友達(森さん)に話しました。

(1) あなた：CD貸してくれる？

林：いいよ。どうぞ。

あなた：ありがとう。

.....

あなた：森さん、林さんにCD貸してもらったよ。

森：ああ、よかったね。

ここで用いられる「貸してくれる」「貸してもらう」は、実際にCDの貸し借りですね。では、次はどうでしょう。

(2) あなた：この漢字の読み方教えてくれる？

林：いいよ。ああ、「授受表現」だよ。

あなた：ああ、「授受表現」ですね。

.....

あなた：森さん、林さんに読み方教えてもらったよ。

森：ああ、よかったね。

(2)の「教えてくれる」「教えてもらう」は、物ではなく「教える」という抽象的な事柄のやり取りになっています。抽象的な事柄ではあるけれど、そこには「教えること」のやりもらい、恩恵・利益の授受が存在しています。

では、次の(3)の会話はどうでしょうか。

ある日、あなたと林さんは口喧嘩をしました。林さんはあなたの気持ちを誤解したようです。それで、後日、あなたは林さんに自分の本当の気持ちを説明しました。(3)は、自分の気持ちを説明したあとの会話です。

(3) あなた：私の気持ち、分かってくれた？

林：うん、分かったよ。

あなた：ありがとう。

.....

あなた：森さん、林さんに私の気持ち、分かってもらったよ。

森：ああ、よかったね。

会話(3)に出てくる「分かってくれる」「分かってもらう」は、物のやり取りや具体的な事柄のやりもらいではありません。あなたは林さんがあなたの気持ちを理解したことに対して、恩恵・利益というより、むしろ感謝やありがたい気持ちを感じて、「林さんに私の気持ちを分かってもらった」または、「林さんは私の気持ちを分かってくれた」と表現しています。

このように「～てくれる」「～てもらう」などの授受表現は、具体的な恩恵・利益のほかに感謝やありがたい気持ち、さらには相手に対する尊敬・尊重の気持ちを表すこともあります。

次は、医者と患者の会話です。会話を注意して読んでください。

(4) 患者：私の病気はどうでしょうか。

医者：.....

患者：先生、どんな治療法があるんでしょうか。

医者：大丈夫ですよ。

私は、患者さんによく説明し、病気の原因や治療法をよく分かってもらってから、今後の治療方針を決めていきたいと思っています。

難しいところは「病気の原因や治療法をよく分かってもらってから」の部分ですね。これは構造的には、「医者が[患者に 病気の原因や治療法を 分かって]もらう」なので、原因や治療法を分けるのは患者で、医者はそれによって感謝やありがたい気持ちを感じ、また、患者に対する尊敬・尊重を表しているということになります。

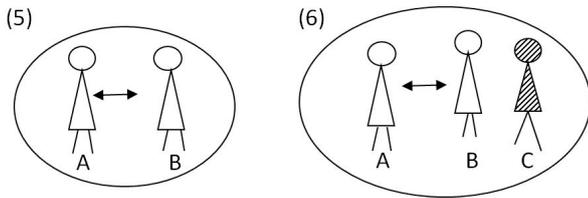


3. 「(て) くださいvs (て) あげて/やってください」

授受表現においては「誰が、誰のためにするのか」という「人
の関係」が重要ですが、では、(5)の依頼表現(太字部分)は何
人の人が関わっているかを考えてください。

(5) A: Bさん、時間ありますか。
B: ええ。
A: じゃ、ちょっとこれ、**手伝ってください**。

(6) A: Bさん、時間ありますか。
B: ええ。
A: Cさんが忙しいので、**手伝ってあげてください**。



状況としては、図のように、(5)は2人、(6)は3人と考えられます*1。(5)は、話し手が相手に手伝ってほしいと頼んでいる、したがって関わっているのが「2人」に対し、(6)は「Cさんが忙しいから、Cさんを手伝ってほしい」とAさんが頼んでいる、したがって関わっているのは「3人」になります。(6)で、Aさん(話し手)が自分のこととして頼む場合は「手伝ってください」、Cさんのことを中心に考えている場合は「手伝ってあげてください」になります。もし、CさんがAさんの家族などの場合は、「手伝ってやってください」となります。

もう一つ大切なことは、「くれる」は依頼や命令、意志、願望などの働きかけの表現はとることができません。

- ×手伝ってくれてください。
- ×手伝ってくれたい。
- ×手伝ってくれろ*2。

したがって、「Cさんが忙しいので、手伝ってくれてください」などは言えません。

では問題です。会話が少しややこしくなっているので、気を付けてください。

【問題】 次の会話を読んで、()の中から適切なものを選んでください。

(7) A: 弟さんは音楽活動のほう、どうですか。
B: 実は、事情があって、今度やめることになりました。
A: えっ、・・・そうなんですか。
B: それで、ギターがいくつかあるんですが、もしよかったら、もらって(あげて/やって/くれて)くれませんか。
A: そうですね。では、記念にいただきます。



答え: やって

この会話のやりもらい関係には、何人の人が関わっていますか。そうですね。Aさん、Bさん、そして、Bさんの弟の3人ですね。

では、誰が誰にギターをあげたいと思っていますか。そうですね。BさんがAさんに弟のギターをあげたいと思っているのですね。

もし、関係がAさんBさん2人だけなら、「もしよかったら、(私のギターを)もらってくれませんか」となりますが、弟が関係しているので、「もしよかったら、もらってやってくれませんか」になります*3。Bさんには、「弟のためにもらってくれたら、うれしい/ありがたい」という気持ちが入ります。

注

- *1: A B Cが複数の場合も考えられるが、ここでは単純化してA B C一人ずつとして考える。
- *2: 一部の方言では、「(て) くれろ」という形式をとることがある。
- *3: 弟が関係している場合でも、Aさんが弟のことを自分のこととして頼む場合は、「もしよかったら、(弟のギターを)もらってくれませんか」も可能。

このコーナーの担当者: 市川保子(日本語国際センター客員講師)

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。